



## T コマンド

---

この章では、T で始まる Cisco NX-OS Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) コマンドについて説明します。

# timers active-time

アクティブ状態に対する Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) 制限時間を調整するには、**timers active-time** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

**timers active-time** [*time-limit* | **disabled**]

**no timers active-time**

## 構文の説明

<i>time-limit</i>	(任意) アクティブ制限時間 (分)。範囲は 1 ~ 65535 分です。デフォルト値は 3 です。
<b>disabled</b>	(任意) タイマーをディセーブルにし、ルーティング待機時間を無制限にアクティブのままにします。

## コマンド デフォルト

ディセーブル

## コマンド モード

アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード  
 ルータ コンフィギュレーション モード  
 ルータ VRF コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

ルートが Stack in Active (SIA) 状態であると宣言するまでに、ルータが (クエリー送信後の応答を) 待機する時間を制御するには、**timers active-time** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、指定された EIGRP ルートに無制限のルーティング待機時間を設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router) address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af) # timers active-time disabled
switch(config-router-af) #
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
<b>show ip eigrp</b>	EIGRP 情報を表示します。

# timers nsf converge

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) の Nonstop Forwarding (NSF) コンバージェンスの制限時間を調整するには、**timers nsf converge** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

**timers nsf converge** *seconds*

**no timers nsf converge**

構文の説明	<i>seconds</i>	NSF スイッチオーバー後のコンバージェンスの制限時間 (秒)。範囲は 60 ~ 180 秒です。デフォルト値は 120 です。
-------	----------------	--

コマンド デフォルト	120 秒
------------	-------

コマンド モード	アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード ルータ コンフィギュレーション モード ルータ VRF コンフィギュレーション モード
----------	---

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	スイッチオーバー後のコンバージェンスをルータが待機する時間を制御するには、 <b>timers nsf converge</b> コマンドを使用します。 このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。
------------	--

例	次に、EIGRP の NSF コンバージェンス時間を設定する例を示します。 <pre>switch(config)# router eigrp 1 switch(config-router) address-family ipv4 unicast switch(config-router-af)# timers nsf converge 100 switch(config-router-af)#</pre>
---	--

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
	<b>show ip eigrp</b>	EIGRP 情報を表示します。

# timers nsf route-hold

NSF 認識 Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) ルータが非アクティブ ピアのルートを持続する時間を決定しているタイマーを設定するには、**timers nsf route-hold** コマンドを使用します。このルート ホールド タイマーをデフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**timers nsf route-hold** *seconds*

**no timers nsf route-hold**

## 構文の説明

<i>seconds</i>	EIGRP が非アクティブ ピアのルートを持続する時間 (秒)。範囲は 20 ~ 300 秒です。デフォルトは 240 です。
----------------	---

## コマンド デフォルト

EIGRP NSF 認識がイネーブルになっています。  
seconds: 240

## コマンド モード

アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード  
ルータ コンフィギュレーション モード  
ルータ VRF コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**timers nsf route-hold** コマンドは、スイッチオーバーの動作中または well-known 障害の状態にある間、NSF 対応ルータが NSF 対応ネイバーの既知のルートを持続する最長時間を設定するために使用します。ルート ホールド タイマーは設定可能なため、ネットワーク パフォーマンスの調整をし、スイッチオーバー動作に時間がかかりすぎた場合に「ブラック ホール」ルート (無効ルートのアドバタイズ) などの望ましくない影響を避けることができます。このタイマーの期限が切れると、NSF 認識ルータはトポロジ テーブルをスキャンし無効なルートを破棄します。これにより EIGRP ピアは、スイッチオーバー動作中に長い時間待機せずに代替ルートを探すことができます。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、NSF 認識ルータのルート ホールド タイマー値を 2 分 (120 秒) に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router) address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# timers nsf route-hold 120
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。
<code>show ip eigrp</code>	EIGRP 情報を表示します。

# timers nsf signal

Nonstop Forwarding (NSF) 再起動の信号を Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) が待つ制限時間を設定するには、**timers nsf signal** コマンドを使用します。このルート ホールド タイマーをデフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**timers nsf signal seconds**

**no timers nsf signal**

## 構文の説明

*seconds* EIGRP がピアからの NSF 再起動の信号を待機する時間 (秒)。範囲は 10 ~ 360 秒です。

## コマンド デフォルト

EIGRP NSF 認識がイネーブルになっています

## コマンド モード

アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード  
ルータ コンフィギュレーション モード  
ルータ VRF コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

NSF 認識ルータが NSF 対応ネイバーからの再起動の信号を待機する最大時間を設定するには、**timers nsf signal** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、NSF 認識ルータの信号タイマー値を最大値 (30 秒) に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router) address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# timers nsf signal 30
switch(config-router-af)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
<b>show ip eigrp</b>	EIGRP 情報を表示します。